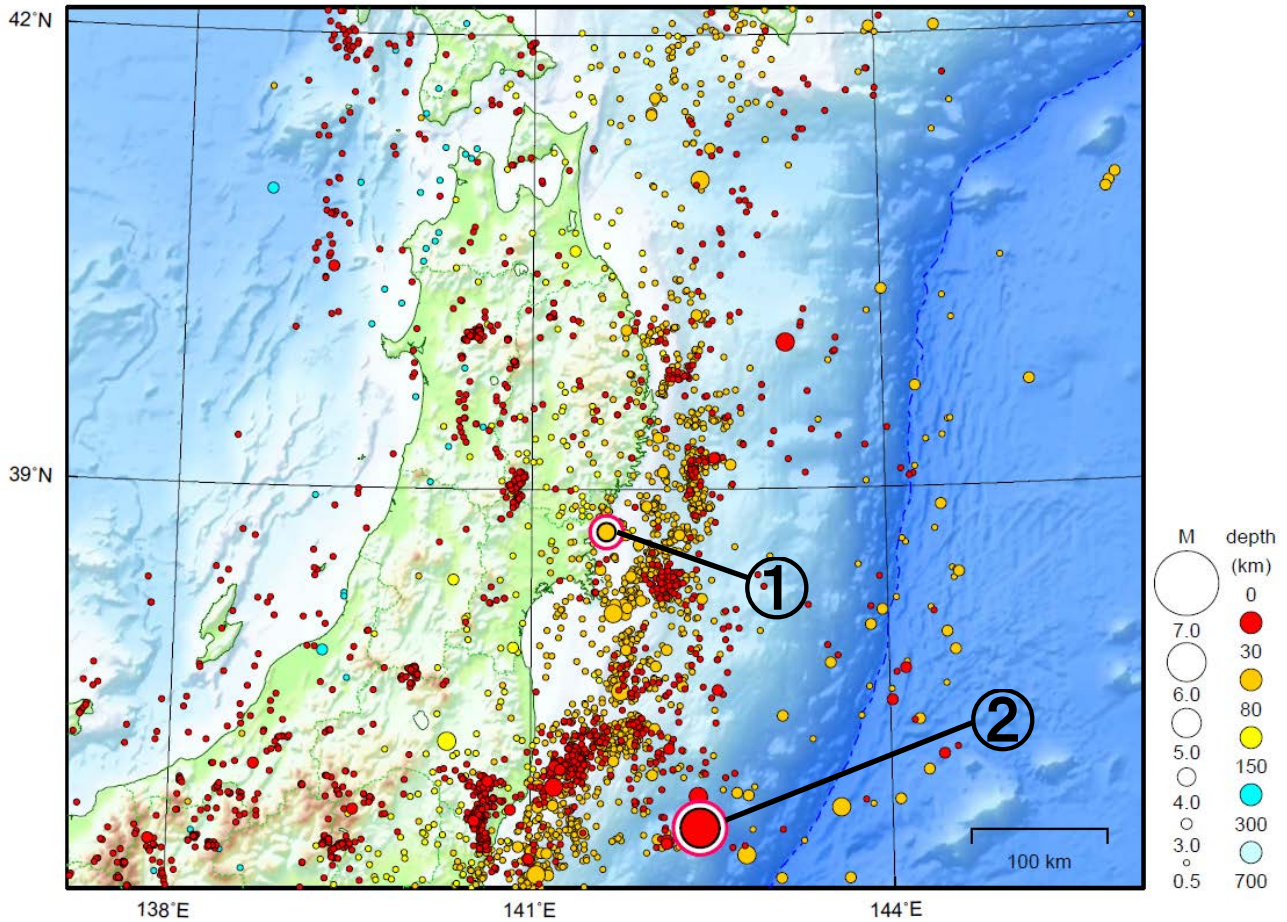


# 東北地方

2019/03/01 00:00 ~ 2019/03/31 24:00

N=3917



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

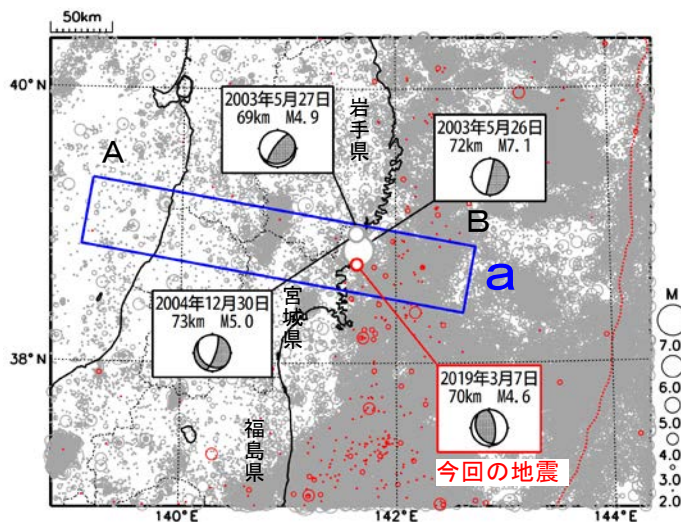
- ① 3月7日に宮城県沖でM4.6の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 3月11日に福島県沖でM6.0の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

### 3月7日 宮城県沖の地震

震央分布図  
 (1997年10月1日～2019年3月31日、  
 深さ0～200km、 $M \geq 2.0$ )  
 2019年2月以前に発生した地震を○、  
 2019年3月以降に発生した地震を○で表示

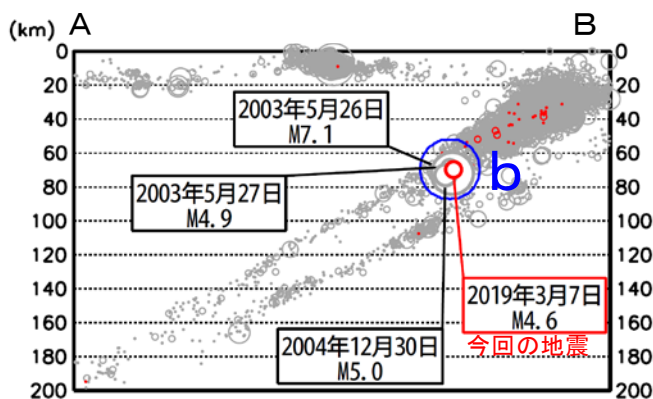


2019年3月7日04時26分に宮城県沖の深さ70kmでM4.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

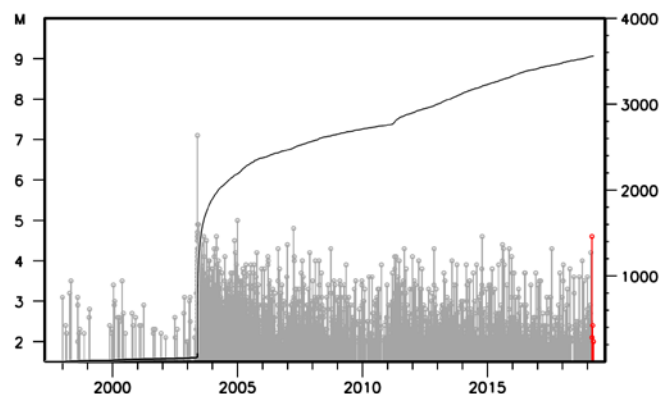
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0を超える地震が時々発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が7回発生している。このうち2003年5月26日に発生したM7.1の地震(最大震度6弱)では、負傷者174人、住家全壊2棟、半壊21棟、一部破損2,404棟の被害が生じた(総務省消防庁による)。

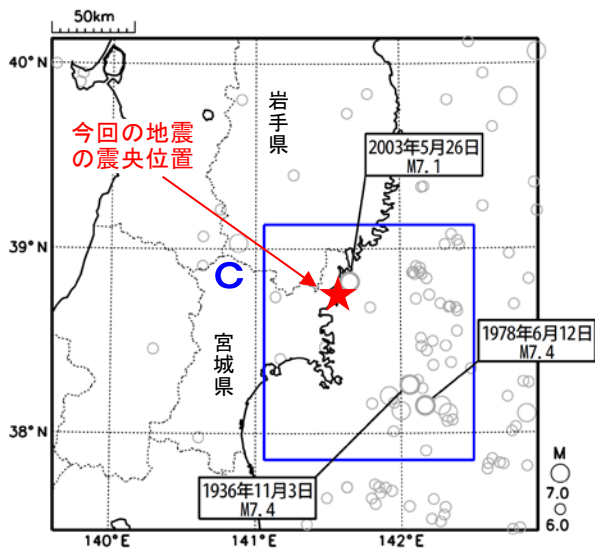
領域a内の断面図 (A-B投影)



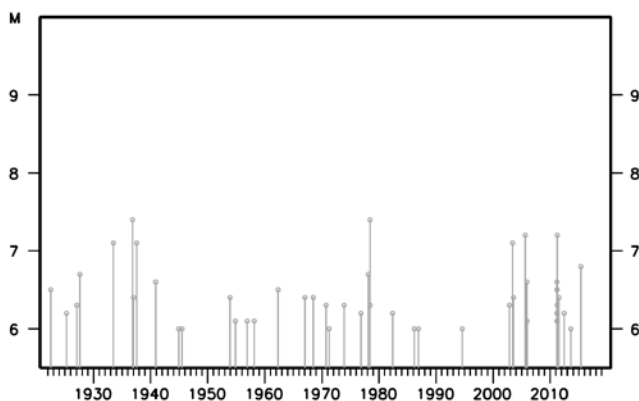
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
 (1922年1月1日～2019年3月31日、  
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )  
 2019年2月以前に発生した地震を○、  
 2019年3月以降に発生した地震を○で表示



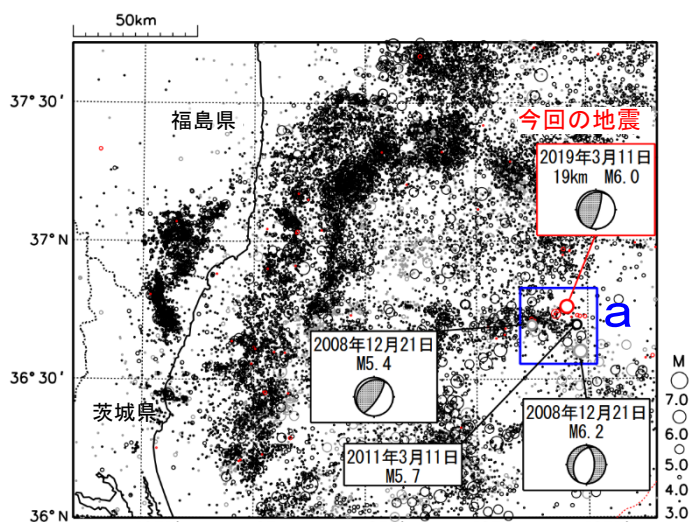
領域c内のM-T図





# 3月11日 福島県沖の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2019年3月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ )  
東北地方太平洋沖地震発生以前に発生した地震を○、  
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を○、  
2019年3月に発生した地震を●で表示  
図中の発震機構はCMT解



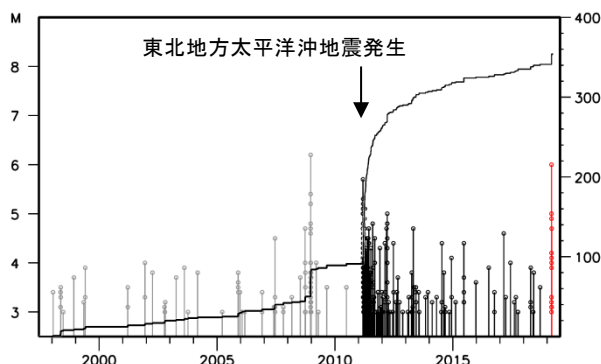
※今回の地震の深さはCMT解による

2019年3月11日02時10分に福島県沖の深さ19km (CMT解による) でM6.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

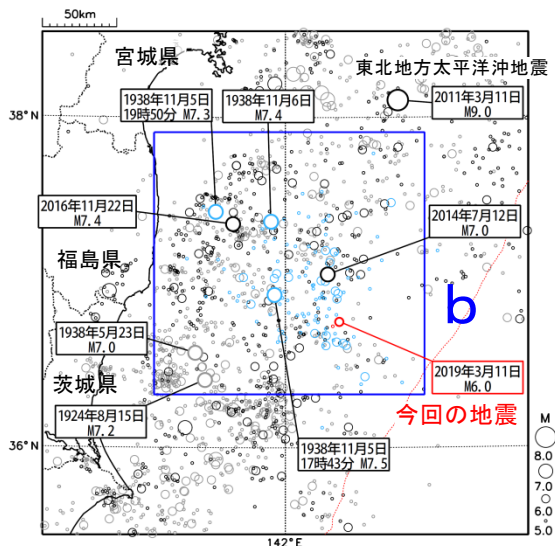
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(以下、東北地方太平洋沖地震)」の発生以降、地震活動が活発化し、M5.0以上の地震が11回発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震(最大震度5)が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm(全振幅)の津波が観測された。この地震の発生後、福島県沖で地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が26回発生し、このうち7回は津波を観測した。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1922年1月1日～2019年3月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )  
1938年11月5日～11月30日に発生した地震を○、  
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を○、  
2019年3月に発生した地震を●、それ以外を○で表示



領域b内のM-T図

